

山形県感染症発生動向調査 週報

2026年 第28週
(2026年7月6日～2026年7月12日)

2026年7月15日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

< 定点把握感染症 >

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

定点 種別	感 染 症	全国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)	
		第27週	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第1～28週		
急性 呼吸器 感染症	内科・小児科（定点医療機関数）		(39)				(7)			(10)			(4)			(6)			(12)				
	インフルエンザ	446 0.12		5 0.13	△					4 0.40	△					1 0.17	△				9675		
	新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)	5482 1.47	31 0.79	36 0.92	▲	9 1.29	7 1.00	▽	5 0.50	8 0.80	▲				16 2.67	16 2.67		1 0.08	5 0.42	▲	2007		
小児科 定点	(定点医療機関数)		(26)				(6)			(7)			(3)			(3)			(7)				
	RSウイルス感染症	826 0.37	4 0.15	6 0.23	△	2 0.33		▽	2 0.29	6 0.86	△										674		
	咽頭結膜熱	1019 0.45	18 0.69	13 0.50	▼	3 0.50	3 0.50		5 0.71	4 0.57	▽		1 0.33	△	9 ◎3.00	4 ◎1.33	▽	1 0.14	1 0.14		353		
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	4640 2.06	127 4.88	74 2.85	▼	18 3.00	24 4.00	△	39 ◎5.57	18 2.57	▼	1 0.33	2 0.67	△	44 ◎14.67	16 ◎5.33	▽	25 3.57	14 2.00	▼	3414		
	感染性胃腸炎	10023 4.45	71 2.73	65 2.50	▽	11 1.83	19 3.17	△	41 5.86	20 2.86	▽	4 1.33	3 1.00	▼	11 3.67	12 4.00	▲	4 0.57	11 1.57	△	3735		
	水痘	719 0.32	10 0.38	18 0.69	△	1 0.17	10 ◎1.67	△	2 0.29	4 0.57	△	1 0.33	1 0.33		4 ◎1.33	1 0.33	▽	2 0.29	2 0.29		520		
	手足口病	15845 7.03	53 2.04	105 4.04	▲	5 0.83	36 ◎6.00	▲	11 1.57	14 2.00	▲		1 0.33	△	5 1.67	10 3.33	▲	32 4.57	44 ◎6.29	▲	266		
	伝染性紅斑	131 0.06																			95		
	突発性発しん	735 0.33	21 0.81	11 0.42	▽	5 0.83	4 0.67	▽	5 0.71	1 0.14	▽		1 0.33	△	9 3.00	1 0.33	▽	2 0.29	4 0.57	▲	253		
	ヘルパンギーナ	3998 1.77	17 0.65	45 1.73	▲		7 1.17	△	4 0.57	12 1.71	▲				4 1.33	10 3.33	▲	9 1.29	16 2.29	▲	87		
	流行性耳下腺炎	107 0.05		1 0.04	△		1 0.17	△													14		
	眼科 定点	(定点医療機関数)		(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
		急性出血性結膜炎	12 0.02																			0	
流行性角結膜炎		331 0.48	1 0.13		▽	1 1.00		▽													100		
基幹 定点	(定点医療機関数)		(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)				
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	19 0.04																			4		
	クラミジア肺炎	7 0.01																			0		
	マイコプラズマ肺炎	126 0.26																			45		
	細菌性髄膜炎	6 0.01																			6		
	無菌性髄膜炎	23 0.05																			4		

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 通 信 欄 >

〇トピックスで、「夏に流行する感染症」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

疾 病 名	警報レベル		注意報 レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、
警報・注意報の基準値については参考値として取り扱いいます。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

種 定 別 点	感 染 症																
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
	インフルエンザ								1	1				1	1		5
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～										
					1												
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳		36
			3	3	4	2	9	4	3	1	2	1	2				
30～39歳		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～											
1				1													
小児科定点			～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	
	RSウイルス感染症				1	2	1	2									6
	咽頭結膜熱		1	2	8		1		1								13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	2	3	5	13	9	6	7	5	10	11		2	74
	感染性胃腸炎			5	14	8	3	5	5	6	2	7	2	7	1		65
	水痘				1	2	1	2	1	1	1	2	1	6			18
	手足口病			10	56	25	7	2		1			1	2	1		105
	伝染性紅斑																0
	突発性発しん			4	7												11
	ヘルパンギーナ			4	14	18	4		3			2					45
	流行性耳下腺炎										1						1

< 全数把握感染症 >

感 染 症	報 告 数					備 考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症	1			1		型別:O26 VT不明(1)、O血清群不明 VT2(1)
レジオネラ症	1	1				

<トピックス>

夏に流行する感染症

夏に流行するウイルス感染症として、手足口病やヘルパンギーナなどがあります。これらの感染症は一般的に数日で軽快しますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。主に乳幼児を中心に数年おきに大きな流行がみられており、今年はその感染症も全国及び山形県で増加しています。特に手足口病は山形市保健所、庄内保健所において第28週に警報レベルを上回り、他の保健所でも増加がみられているため注意しましょう。

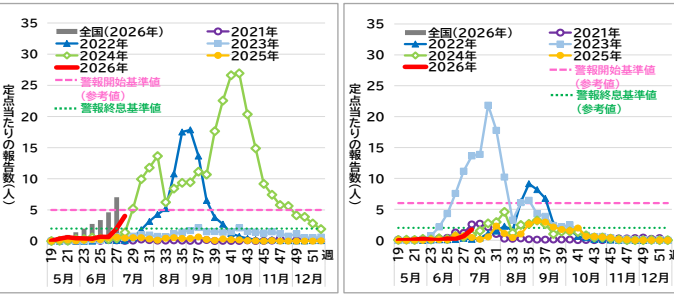


図 左:手足口病 右:ヘルパンギーナ 定点当たり報告数 (2021年～2026年現在)

症状

手足口病は、手足や口の中などに水疱を伴う発疹が現れ、発熱を伴う場合があります。
ヘルパンギーナは、38℃以上の突然の発熱やのどの痛み、口の中の水疱が数日続き、食欲不振や全身のだるさ、頭痛などを起こします。

共通の注意として、口の中の水疱により、食事や水分がとりにくくなり脱水症状を起こすことがあるため、水分補給を心がけましょう。

感染経路と予防方法

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染(便で排泄されたウイルスが口に入って感染すること)です。ワクチンはありませんので、予防するには日頃から流水や石けんによるこまめな手洗いが重要です。特におむつ交換時には注意が必要です。またタオルの共用は避けましょう。

上記は厚生労働省のウェブサイトを加工・編集して作成しています。 手足口病▶

ヘルパンギーナ▶

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第27週	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	第27週	第28週	増減	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	189593	1829	2029	▲	422	500	▲	351	420	▲	235	258	▲	404	393	▼	417	458	▲	65277
	50.88	48.13	53.39		60.29	71.43		35.10	42.00		58.75	64.50		80.80	78.60		34.75	38.17		

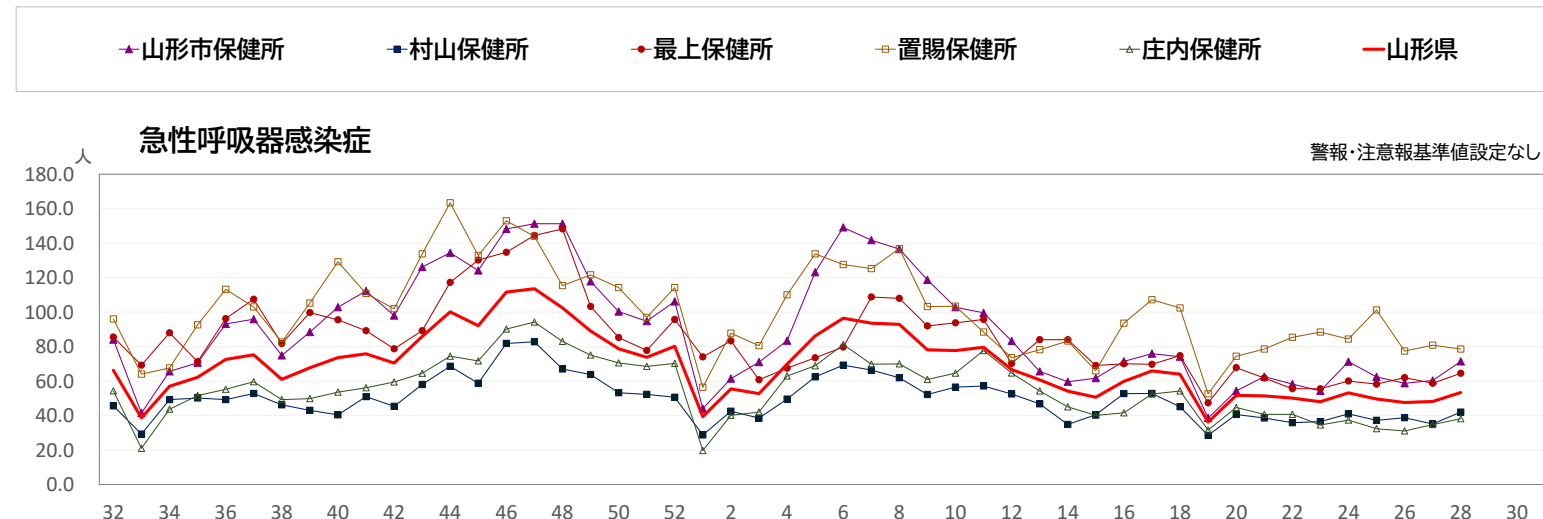
・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県												
	第28週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳～	合計
急性呼吸器感染症	149	1064	418	165	28	25	47	36	28	28	23	18	2029

< 定点当たり報告数グラフ >



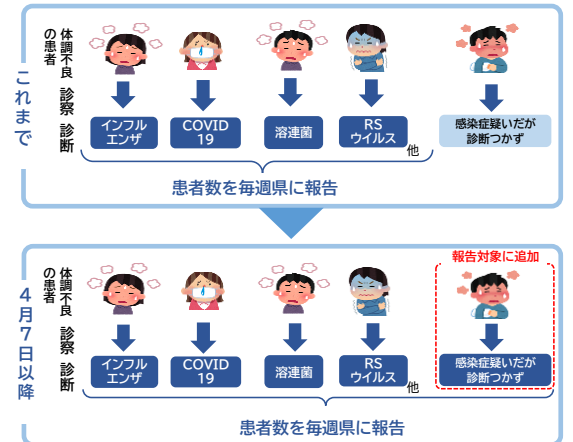
急性呼吸器感染症(ARI) サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が2025年4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ▶▶

